



震災復興支援
活動情報

Vol.9

サポセン
かわら版

「サポセンかわら版」では、東日本大震災で被災された方に向けた、救援物資の提供、お悩みやお困りごとのご相談、心のケアなどの活動を行う市民活動団体・NPO、企業の社会貢献による支援活動などの情報をお届けします。掲載された情報は、6月16日～6月30日に受けた情報です。詳細については、各団体の連絡先に直接お問い合わせください。

発行:仙台市市民活動サポートセンター 電話:022-212-3010

7月20日(水)



NPO法人ふうどばんく東北AGAIN

全国ネットの支援を受け、「食」と「食べ物を大切にしているところ」を届ける

東北には本来、日々の糧に感謝し、お互いが助け合いながら生活する風土がありました。ふうどばんく東北AGAINは、地震直後から全国にあるフードバンク団体と連携し、被災地で決定的に不足していた食料・生活用品・燃料・車両・活動人員などのご支援を頂きながら、避難所などへの物資の配達を行いました。配達は、団体のメンバーだけでは処理できないため、市内の他のNPOと連携して実施しました。

今後も民間による「食のセーフティネット」としての役割を担っていきます。食料は施設・団体・避難所などへ届けられています。なお申し訳ありませんが、活動人員や食品の保管場所の関係で、現在個人への直接提供は行っておりません。ただし場合によっては、連携団体から支援できる場合もありますのでお問い合わせ下さい。

●内容/フードバンクとは、パッケージ破損や印字ミスなどの様々な理由により、まだ食べられる状態で日々捨てられていく食品を、企業などから無償で提供いただき、福祉施設やホームレス支援団体などへ無償で届ける活動のことで。また、各家庭からの食品の寄贈も受け付けておりますのでご連絡をお待ちしています。

- ◎福祉施設や困窮者支援団体への食品提供
- ◎避難所などへの食品提供
- ◎フードバンク活動を通じた食のセーフティネットの構築活動

●連絡先

代表者 川崎 豊
TEL:090(2885)8957
FAX:022(268)4042(レターケース39番)
E-mail:info@foodbank.or.jp (担当:高橋陽佑)
ウェブサイト:http://www.foodbank.or.jp/



3がつ11にちをわすれないためにセンター

「わすれんTV311」のネット配信を開始しました

●内容/一人ひとりの震災体験を語り直し、震災復興の支援活動を考え、それらの言説や活動を市民や専門家とともに発信・記録するインターネット番組です。7月23日(土)18:30～19:30、支援の始まりとこれからの課題について語り合う「支援のかたち～生放送!サポセンかわら版～」を放送します。今回のテーマは「炊き出し」。

●連絡先

せんたいメディアテーク 企画・活動支援室
TEL:022(713)4483 FAX:022(713)4482
E-mail:wasuren@smt.city.sendai.jp
ウェブサイト:http://recorder311.smt.jp/



smf311

「音楽」による復興支援や子供たちへの手作り楽器の演奏サポートを行っています

●内容/"とっておきの音楽祭"のサポートなど「音楽」を通じて復興支援している方へのサポートや海外アーティストとの連携で「応援ソング」を作成し、チャリティライブやCD販売での収益金を支援金として現地へコーディネートしたりしています。また、被災した子供たちへの学用品、道具、楽器の調達なども行っています。

●連絡先

代表者 佐藤 寿幸
TEL:090(9741)8869
連絡可能な時間帯 18:30～22:00
E-mail:kotobuki-happy@etude.ocn.ne.jp



みやぎ転妻ねっとわーく(Personnager)

「むすび丸ecoたわし」でホッと笑顔を届け隊

手芸部として活動しているメンバーの有志により「むすび丸ecoたわし」の製作をしています。アクリル毛糸を使いかぎ針で編む、黄色とグレーの2種類の兜を付けたむすび丸(1つ250円)を、宮城県内で3カ所、東京でも販売しています。大変評判がよく、むすび丸が県外でも認知され始めたことで売れ行きも好調。宮城県外に転勤したメンバーも協力しています。売り上げは日本赤十字社を通じ、義援金として寄付する予定です。編み物に没頭することで気分転換が図られ、手を動かしながら他愛ない会話を交わすことで連帯感が生まれ孤独感が癒やされることから、被災地での編み物教室を考えています。

●内容／転勤族の妻たちの相互援助サークルです。

◎転勤により宮城に来た妻たちへの情報提供

◎春と秋、年2回ほど交流会を開催

(お茶会・料理教室・お花見・芋煮会など)

◎ランチ会、飲み会

◎月1回、手芸部の集まり

(エルパーク仙台、エルソーラ仙台などで行います)

●連絡先

代表者 澤岡 昌子

TEL:090(4040)1610

連絡可能な時間帯 平日17:00～ 土日終日

E-mail:per_miya@yahoo.co.jp



NPO法人宮城英語教育支援協会(MEESAみーさ)

教育復興のため子どもたちへの支援や学校への支援活動を行っています

●内容／英語教育の理解と普及などを目的に活動していますが、この度の震災で、県内ALT(外国語指導助手)との協力の下、Teachers For Japanを立ち上げて「被災により両親や家を失った子どもたちの教育継続のための支援」や「被災学校の再建のための支援」活動を行っています。その中で学用品、文具等の寄付提供を被災学校や児童へ行ってきました。

●連絡先 代表者 土佐 昭一郎

TEL:090(7660)5496 FAX:022(234)3351

連絡可能な時間帯 月～水の午後3時まで、木は午後1時～4時、金土は夜7時以降

E-mail:chomo.yoko@nifty.com

ウェブサイト:http://www.geocities.jp/miyagieesa/



公立大学法人宮城大学 地域連携センター

復興に向けて地域の人々、企業や団体と、宮城大学を結びます

●内容／当地域連携センターは、宮城大学の教育研究の成果を地域に活かす社会活動拠点です。東日本大震災からの復興に際し、被災地域や県内自治体への支援を行っています。支援活動は、「南三陸町復興支援プロジェクト」の立ち上げ、「震災復興産学支援センター」の設置、震災復興支援行事の開催などを行っています。

●連絡先

代表者 地域連携センター長 園部 尚

TEL:022(377)8319 FAX:022(377)8421

連絡可能な時間帯 8:30～17:15

E-mail:fukkou@myu.ac.jp

ウェブサイト:http://www.myu.ac.jp/



新潟大学工学部建設科 岩佐研究室

「仮設のトリセツ」～仮設住宅を住みこなすための方法～

●内容／中越地震から得た経験や知識を元に、実際に仮設住宅にお住まいになった方々から教えて頂いた「仮設の知恵」をまとめたウェブサイトです。入居者自らが少しずつ手を加え、住みやすい環境に作り変えてきた中越の先人たちの知恵を参考に、仮設住宅での暮らしを少しでも快適なものとするための一助としてご活用ください。

●連絡先

新潟市西区五十嵐2の町8050

E-mail:iwasa@eng.niigata-u.ac.jp (問合せはメールが確実です)

ウェブサイト:http://kasetsukaizou.jimdo.com/

※サイトに記載している情報は印刷してご利用いただけるよう、PDFをダウンロードできるようになっています。



東北大学大学院環境科学研究科

「先取りしたい、2030年の暮らし」シリーズ発行

●内容／震災後、エネルギーのあり方が見直されています。エネルギーや資源が十分に得られないときでも心豊かに暮らす方法を提案する小冊子を制作しました。我慢するだけでなく、ちょっとだけ暮らし方を変えるだけで楽しく暮せる工夫と知恵が満載です。現在、明かり編・冷暖房編・食編のPDFがウェブでも公開されています。

●連絡先

仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-20

TEL:022(795)7408 冊子をご希望の方は上記宛にご連絡ください。

ウェブサイト:

http://www.kankyo.tohoku.ac.jp/kankou.html#2030

※冊子は上記URLからダウンロードが可能です



トッピンググループ

ブックワゴンが仮設住宅で本の貸し出しをはじめます

ブックワゴンは、宮城県内の仮設住宅を巡回する移動図書館です。2台のブックワゴンが、本と人とはぐれあう場を提供します。トッピンググループの社員を中心に現地の方々にお届けしたい本を考え、選書、書棚を計画しました。被災地では、震災後から常に状況が移り変わり、求められていることも刻々と変化しています。現地ニーズに対するきめ細かい対応を行うため、また、より地域に根ざした活動となることを目指して、経験豊富な現地NPOのアドバイスや協力をいただきながら、長期的に活動いたします。2011年7月から2012年3月末まで社員自らがスタッフとして同乗し、本をお届けします。

●内容／訪問場所：あすと長町、鶴巻1丁目東公園、岡田西町公園、福田町南1丁目公園、荒井小学校用地、高砂1丁目公園、港南西公園、背後地6号公園、七郷中央公園、若林日辺グラウンド他

当日の運行状況や巡回ルートについては、仙台事務局
TEL 080(1301)6664(月・火・水・金・土9:00~18:00)まで

●連絡先

担当 大竹・櫻田

TEL:03(5840)2707(東京事務局:月~金9:00~18:00)

E-mail:bookwagon@toppan.co.jp

ウェブサイト:http://bookwagon.jp/



タッピングタッチ協会

心のケア「タッピングタッチ」の支援活動を行っています

●内容／タッピング・タッチとは、指先の腹のところを使って、軽く弾ませるように左右交互に優しくたたくことを基本としたホリスティック(統合的)でシンプルなケアの技法です。個人のセルフケアや病気の方へのケアも行っています。避難所の方々や東北にお住まいの方々へ心のケア「タッピングタッチ」の支援活動を行っています。

●連絡先

代表者 長谷 とも子

TEL:090(7074)8592

E-mail:long-valley.tomo@docomo.ne.jp



NPO法人国際ボンディング協会

被災地の親と子の絆を支えて行く活動を行っています

●内容／親子サロンやベビーマッサージの開催、アロマキャンドル作り、母子のための手作りグッズの作成・提供などの被災地における母子支援活動。他県での支援活動や母子の心のケアに関するセミナーなど支援する協会会員に対する活動を行っています。災害支援団体ミラクルハンズと共同で支援物資の提供なども行っています

●連絡先

代表者 鮫島 浩二

TEL:090(3368)7120 FAX:022(275)6132

連絡可能な時間帯 18:00~21:00

E-mail:alohamegf@yahoo.co.jp

ウェブサイト:http://www.bonding.jp/index2.shtml



NPO法人 せんだいファミリーサポート・ネットワーク

様々な子育て支援を行っています

●内容／指定管理者として「仙台市子育てふれあいプラザのびすく仙台」を運営していますが、震災後、通常業務の傍ら支援物資の受け入れと、人・施設等に支援物資の配送を行ってきました。現在、震災後の母親の心のケアを目的とした「お母さんたちのしゃべり場」を開催し、専門家による講演会や支援者向けの講座の企画開催を考えています。

●連絡先

代表者 伊藤 仟佐子

TEL:022(726)6181 FAX:022(214)5071

連絡可能な時間帯 9:30~17:00

E-mail:miura@nobisuku-sendai.jp



NPO法人東京英語いのちの電話

支援者が被災者に、安全なサポートを提供するための研修会(PFA)

●内容／被災地の支援をする様々な団体を対象としたサイコロジカルファーストエイド(PFA)の研修を提供しています。PFAは、支援者が被災者と関わる際に、どのような言葉をかければ良いか、個人情報の保護についてなど、被災者がダメージを受けることを防ぎ、安全なサポートを提供できるように準備をするための研修です。

●連絡先

代表者 秋山 剛

TEL:03(4550)1191(担当 大滝)

ウェブサイト:http://www.telljp.com



(社)宮城県シルバー人材センター連合会

55歳以上の方の雇用・就業や社会参加を応援します

県内各地で再就職や社会参加に役立つ就業支援セミナーと、企業の職場体験・NPOやボランティア活動体験ができるワークショップ講座等を開催します。8月の就業支援セミナーの内容は、9日は「NPO法人あなたの街の三河やさん」代表北村佳子さん、23日は「NPO法人あかねグループ」理事長武田美江子さんをお招きし「NPOの活動について」のお話し、生活プランの作成、キャリアカウンセラーの講話などです。雇用・就業や社会参加を考えている方ならどなたでも参加いただけます。充実したセカンドライフに向けて、人生選択の幅を広げてみませんか。地域を支える活動を始めてみたいとお考えの方も、ぜひご参加ください。

●内容/8月就業支援セミナー

日時:8月9日(火) 10:00~15:30

場所:仙台市民会館第2会議室

日時:8月23日(火) 10:00~15:30

場所:仙台市情報・産業プラザ セミナールーム(2)A

いずれも、55歳以上の方が対象。

受講料は無料ですが、事前のお申込みが必要です。

●連絡先

仙台市青葉区本町1-13-19 クリスタルパレス第2本町ビル

TEL:022(797)8035 FAX:022(712)8856

連絡可能な時間帯 平日9:00~17:00(担当 中村)

ウェブサイト:<http://www.sjc.ne.jp/miyagisc/index.html>



仙台市権利擁護センター(まもりーぶ仙台)

福祉サービスの利用援助サービスや 日常的な金銭管理サービス等を行っています

●内容/認知症高齢者や知的障害、精神障害などで判断能力の十分でない方が、地域で福祉サービスなどを適切に利用し、自立した生活が送れるよう、日常生活や金銭管理の相談に応じます。また、相談内容により本人との契約に基づいて必要なサービスを提供します。

●連絡先

仙台市権利擁護センター(まもりーぶ仙台)

相談受付時間 月~金9:30~16:00

TEL:022(217)1610 FAX:022(213)6457

ウェブサイト:<http://www.shakyo-sendai.or.jp/>



人権NPO World Open Heart

被災者のための 人権相談を行っています

●内容/避難所での性的嫌がらせ、被災地から避難した子どもへのいじめ・差別など、どこに相談してよいかかわらないという方のための人権総合相談窓口を開設しています。

090-5831-0814(24時間可能な限り)

022-398-7129(事務所)

●連絡先

代表者 阿部 恭子

TEL:022(398)7129 FAX:022(398)7129

ウェブサイト:<http://worldopenheart.com/>

仙台市市民活動サポートセンターは、市民活動団体・NPO等の復興支援・まちづくり支援の一環として、9月30日(金)まで無料で貸室をご利用いただけます。

サポセンかわら版をご覧くださいありがとうございます。みなさまのご感想をお待ちしております。

発行: 仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042
ウェブサイト:<http://www.sapo-sen.jp>
E-mail:sendai@sapo-sen.jp

発行日: 2011年7月20日
編集: 特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
編集人: 小松州子 菅野祥子 太田貴 葛西淳子 眞壁さおり
取材: 市民ライターグループ「おかしプラス」
デザイン: 氏家朗

